

【第1回】平成25年12月24日

【第2回】平成26年3月25日

【第3回】平成26年5月24日

【第4回】平成26年●月●日

【第5回】平成26年●月●日

【第6回】平成26年●月●日

本資料は、各回の協議内容を論点毎に整理したものである（類似意見はまとめて記載）。

【くすのき認定こども園について】

1. くすのき認定こども園に関し、保育内容、教育内容、保護者活動ほか詳細な情報を説明会や広報等で周知し、保護者の不安解消と市民の理解を深めるよう取り組む必要がある。
2. 長時間利用の子どもが寂しさを感じるかもしれないなど、子どもたちの感じ方や想いに配慮した対応や運営を期待する。
3. 幼稚園と保育所の合併をプラス志向で捉えて、お互いの良いところを取り入れながら、より良い認定こども園にしていくことが期待される。

【計画内容（協議テーマ）について】

（基本となる考え方）

4. 「子どもの最善の利益を守る」「すべての子どもに良質な成育環境」「子ども目線」を中心に据えることを共通認識とする。
5. 保育に関する「量」と同時に「質」を考慮することが「子ども目線」の追求につながる。

（ニーズ量）

6. ニーズ量を検討する際に現行の「次世代育成支援後期行動計画」も参考にする。

（障がい児支援）

7. 障がい児を含めてすべての子どもが最適に成長のできることが基本。親の就労に関係なく、すべての障がい児を支援する仕組みを確立するべき。
8. 支援が一番必要な障がい児のことを考えていくことこそ、すべての子どもたちの保育・教育の質を高めることにつながる。
9. 民間やNPO法人で障がい児への放課後サービスを行うなど、着実に支援は充実してきている。一方、障がい児の保護者のニーズにどこまで対応するのが良いのかも同時に検討すべき課題。

（幼保一体化）

10. 幼保一体化の考え方（現行の幼保一体化方針を踏まえつつ）
11. 本計画と「泉大津市立認定こども園についての基本方針」の関係について。最終的なニーズ量に関しては子ども子育て会議で決定していく。

（上記以外）

12. 子育てのニーズに合わせて多様な子育て支援策を地域ぐるみで展開していくためにどのような施策をどうつないでいくか。（サービス主体の役割分担とサービス間の調整）
13. 地域型保育のあり方
14. 特定施設等の利用定員
15. なかよし学級（放課後児童クラブ）のあり方
16. 就学前から就学まで一貫して子どもたちが安全で安心して暮らしていくために必要なこと。子どもの成長に合わせて一貫性を持った支援を受けられる継続の視点。
17. 家で子育て中の親子への取り組み
18. 公立幼稚園同士が良い意味で競争をしながら、幼稚園の質を高めること

【アンケート結果からの考察について】

19. 泉大津市は自然環境に恵まれているとはいえない。だからこそ、人間関係を中心とした社会環境の豊かさを活かすなど、アンケート結果を一面的に読み取るのではなく、子どもたちを取り巻く多様な環境を活かして次世代を育成する方策を検討するべきである。
20. 子育て中の母親の中には、夫の実家の泉大津市に嫁いできたため、夫の親族はいても周りに親しく相談できる人がいないという人もいる。アンケート結果に表れていないが、こうした実態も視野に入れる必要がある。
21. 認定こども園、幼稚園や保育所などを利用していない人など、情報が届きづらい保護者への一層の周知、「子ども・子育て制度」の認知度を高めることが大切。
22. 「利用のしかたがよくわからない」「利用したくても手続きが大変」だということを利用して控えている人もいる。情報をいきわたらせていく必要がある。

【教育・保育提供区域の設定について】

23. 「近い」という理由ではなく、「先生の熱意」や「施設環境」などの理由で幼稚園を選ぶ保護者は多い。
24. 子どもたちや保護者が雨の日などでも安全に容易に移動できること、3区域の中に複数の保育、教育施設などをバランスよく配置すること、駐車場などを含めた利用のしやすさを考慮。
25. 中学校区域（3区域）であれば、たくさんの友人や知人といたつながり幅広く作っておくことができる。
26. 2区域あるいは小学校区8区域も検討したが、長所・短所を考慮して3区域が最もバランスがとれる。小学校を終わって中学校に進むことを考えると中学校区は生活実感がある。
27. 地域の中で子どもを育てるのが基本。施設にとっては緊急の時に対応しやすいということも大事であり、中学校区域ではあれば対応できる。
28. 地域内の利用が原則だが、駅の近くなど、地域を超えて利用可能であれば良い。
29. 3区域で決定。

【会議スケジュールについて】

30. 優先して検討すべき事項を精査し、事業者が平成 27 年 4 月から新制度に基づくサービスが実施できるようなスケジュールを進める。

以上